

卓話『続 地球温暖化のウソ・ホント』 小野繁男会員 担当:環境保全委員会

◆会長挨拶

本日はデジタル化推進委員会担当の卓話です。先にご案内のように、本日講師予定の向山副委員長のお父様が逝去されました。向山会員に心よりお悔やみ申し上げます。

本日は向山会員の卓話の予定でしたが、今井幹事より、昨年11/14の環境保全委員会の小野委員長による「地球温暖化のウソ・ホント」のテーマにて卓話を頂きました折に、卓話終了後 講師の小野委員長が、もう少し話したかったと悔やまれておいでの様子でしたとお話を伺いました。それで、これは小野委員長にお願いするしかない今井幹事を通じて卓話要請の連絡をしたところ、快くお受け下さいました。本当に急なことでしたが、エコ愛あふれる小野委員長に感謝致します。

理事会報告ですが、現在インフラに関係するもの、また食も含めた全ての原材料費が高騰しております。その為、マリオさんより事務局・会場費及び料理価格の値上げの要請がございました。これだけ急激に全てのものが上がっている状況下では無理からぬことであり、マリオさんあってのエコRCであるということで、満場一致で値上げを了承するという結論となりました。そして値上げ分に関しては、第34期河西明年度にて予算組み立てして頂くようお願い致しました。

何か健康に良いことをした方がよいと勧められ、私も月2～3回程ではありますがウォーキングをしております。先週久しぶりに一回りして来ました。山の緑は大分色濃くなっており空気も澄んでいて、やや風はあったものの清々しい気分です。歩くことが出来ると汗かいてリフレッシュ出来ました。駅の方まで足をのびたのですが、満開のハクモクレンに出会い思わず携帯に収めました。

今年は桜が早いですね。会社近くの商工会議所とシルクファクトリーのヒガンザクラはほぼ満開です。横河川の桜もつぼみがだいぶ膨らみました。ソメイヨシノはこれから本番ですから、皆さん昨年枝払いをして頂きましたエコの桜を楽しみにしましょう。皆さんもお散歩してみたいはかがでしょうか？

◆地区公共イメージ向上委員会委員 委嘱状授与 内澤伸治会員



◆4月誕生日祝い



◆4月結婚記念日祝い

今井孝寿・丸茂仁志・増澤敏一・小島善之・野口行敏
各会員

◆幹事報告

- ・向山一弘会員 御尊父様の訃報 ※本日向山会員の卓話予定を環境保全委員会 小野委員長に変更
- ◆次年度 会長報告 河西明会員
- ・次年度27期「自然の玉手箱」について 4月スタート
今期は6回開催予定/講師については会員(得意な事を企画)や外部講師を依頼。会として出来る範囲の継続可能な事業として行う。/参加希望34名/中型バスを依頼/今期児童が多いため特に会員皆さんの参加をお願いします。
- ◆次年度 幹事報告 吉池会員
- ・4月9日 地区研修協議会 オンライン開催 ※該当の委員長は出席をお願いします
※4月10日例会にて報告
- ・4月14日(金)第2回理事会 ※終了後懇親会

◆委員会・同好会報告

- 《環境保全委員会》
- ・諏訪湖一斉清掃 5月28日(日)午前6時～
- 《公共イメージ向上委員会》
- ・ロータリーの友 4月号の紹介
P16 友愛の広場 福島喜三次のこと P26名前はどこから P20第2600地区上沢ガバナー
- 《旅学》
- ・4月7日、8日の旅 マリオ 6時45分集合 7時出発

◆卓 話

◆「続 地球温暖化のウソ・ホント」 小野繁男会員
※YorTubeチャンネル放映

【地球温暖化のホント】

気象学者 江守正多氏

- ・人間活動による 特にCO₂などの温室効果ガスの増加による
- ・最近激甚な災害が起きていることは事実



- ・CO₂をはじめとする他のメタンも含め温室効果ガスにより何%地球を温めたかという100%越えている。太陽活動、火山噴火、自然の変動による気温変動は0.2度
- ・IPCC報告書 第6次評価報告書 (2021年) 温暖化の原因は人間の活動によるものと断定。進行状況は世界平均気温 1.09度上昇

- ・IPCC報告書では地球温暖化の原因は人間なのか→疑う余地無し

IPCC報告書2001年：温暖化の傾向は非常に高い66%以上 2007年：非常に高い90% 2013年：極めて高い95% 今回：疑う余地がない

- ・シミュレーションはどこまで信用できるのか？

気候科学者は観測・実験が大事である事を分かった上で政策決定に使える情報としてどこまで言えるのか、考えながら、モデルの限界を理解した上で政策決定に使えるような情報をIPCCの報告書に書いている

- ・CO₂を出すインフラ 発電所を新たに作らない事が経済性を考えても再エネに向うんじゃないか

- ・地球温暖化による将来のリスクはある境目となる値を越えたところで大規模で急激な何かが始まると予測される(ティッピング現象)(記録的な大雨や干ばつ、記録的な熱波、山火事)

【地球温暖化のウソ】 キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 杉山大志氏

- ・よく災害が頻発化しているリストを作って温暖化のせいですって主張する人がいる

- ・自然変動、太陽の活動の変化、地球の大気海洋の変化など要因はCO₂だけが原因ではない

- ・自然科学の世界は観測・実験が神様。どんなに素晴らしいシミュレーションでも観測・実験とどのくらい合っているのか？

- ・地球温暖化の原因は人間なのか→議論の余地あり

- ・過去の地球温暖化は約1度くらいであるということに2割くらいの誤差があると思われる。太陽活動、火山噴火、自然の変動による気温変動は0.2度より多いのではないかと知っている人もいる

- ・太陽の磁場が変化⇒宇宙船の量が変化⇒雲の量が変化⇒地球の気温が変化

- ・世界平均気温変化について地球全体で100年に渡って計算するからスパコンといえども計算出来ない

- ・安全保障を考えないで脱炭素に突っ走ってしまうと戦争が起こると破局で着な失敗を起こす

- ・地球温暖化による将来のリスクはゆっくりとした温暖化であれば問題はない

- ・シミュレーションはどこまで信用出来るのかー上空の大気の気温は観測地に比べモデルは高めにでているものが多い。どんな素晴らしい理論、シミュレーションで



も観測と実験とどのくらい合っているのか。そんな細かい予言をするほど制度が高いかという疑問が湧いてくる

◎IPCCとは

気候変動に関する政府間パネル

(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change) は、世界気象機関 (WMO) 及び国連環境計画 (UNEP) により1988年に設立された政府間組織で、2021年8月現在、195の国と地域が参加しています。IPCCの目的は、各国政府の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えること。世界中の科学者の協力の下、出版された文献(科学誌に掲載された論文等)に基づいて定期的に報告書を作成し、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供している。

IWG1: 気候システム及び気候変動の自然科学的根拠についての評価

WG2: 気候変動に対する社会経済及び自然システムの脆弱性、気候変動がもたらす好影響・悪影響、並びに気候変動への適応のオプションについての評価

WG3: 温室効果ガスの排出削減など気候変動の緩和のオプションについての評価

TFI: 温室効果ガスの国別排出目録作成手法の策定、普及および改定

◎まとめ

恐竜の時代1億年前の二酸化炭素の濃度(今の5倍位)は2000ppm、温度は今より10度以上高かったと言われています。ちなみに現在東京の年間平均気温は16度位だそうです。したがって1億年前は26度位になりますので今のインドあたりが全世界の平均気温だと思われま。植物は今の二酸化炭素濃度(300ppm)で平衡を保っていますがこれが100ppmまで落ちるとほとんど絶滅になり、当然動物も生きて行けない状況になります。また今の倍位の濃度になると米やとうもろこしが増産できると言われています。現在地球の人口が80億人、1850年12億、1950年25億、2050年95億、2060年約100億人でストップすると言われていますが、まだあと20億人位増えるという時に単純に二酸化炭素を減らすだけで済むのかなあとちょっと疑問に思います。



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

■ラッキー No.74 長田 香会員

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

■ニコニコBOX 71,000円

■出席報告

会員数 46名 出席 34名 欠席 12名

出席率 75.55% 訂正 66.66%

今週のプログラム 4月10日(月) PM0:30

マリオ/地区協議会・研修報告 次期役員・理事

次週のプログラム 4月17日(月) PM0:30

マリオ/卓話 出席委員会